

http://www.atmarkit.co.jp/fpc/experiments/011raid4oldpc/raid4oldpc_08.html

Linux のインストール中に、カーネルに含まれないデバイス・ドライバを導入するには、インストーラの起動画面で通常とは異なるオプションを選ぶ必要がある。画面「Red Hat Linux 7.2 インストーラ起動画面」に、その手順を示す。

Red Hat Linux 7.2 のインストール CD-ROM から PC を起動すると、まずセットアップ方式を選ぶ画面が表示される。

デバイス・ドライバのフロッピーディスクがある場合は、「linux dd」オプション付きでインストーラを起動する

「linux dd」オプション付きで Red Hat Linux のインストーラを起動すると、通常のインストーラ画面が表示される前に、デバイス・ドライバの入ったフロッピーディスクの挿入が要求される（画面「Red Hat Linux 7.2 インストーラ（デバイス・ドライバ FD の挿入）」）。

この画面が表示されたら、あらかじめ作成しておいた FastTrak TX2000 のデバイス・ドライバを収めたフロッピーディスクを挿入する。

フロッピーディスクを挿入して「Yes」ボタンを押す